



平成 19 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社マルハニチロホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 五十嵐 勇二  
(コード番号 1334 東証第一部)  
問 合 せ 先  
経営企画本部広報・IRグループ長 川 文 人  
(TEL 03-3216-0821)

### 連結子会社の会社分割、商号変更および子会社設立のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 20 年 4 月 1 日付で連結子会社「マルハ株式会社」「株式会社ニチロ」の会社分割・商号変更、「株式会社マルハ物流ネット」の商号変更および「畜産事業会社」の設立による新しい企業グループ体制の構築を決議しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 会社分割、商号変更および子会社設立の目的

平成19年10月1日、株式会社マルハグループ本社と株式会社ニチロは、水産物のグローバルな調達や商事に強みを持つマルハグループと、食品の開発、製造に強みを持つニチログループが一体となることで、規模の拡大と機能の相互補完を行いながら、生産や販売体制の更なる効率化を実現する目的で、株式交換による両社の全面的な経営統合を致しました。

本日、かねて計画の通り、今後の成長に向けて、新たな企業グループとしての発展を目指し、また、重複機能の削減によるコストダウンと更なる事業の成長を目的として、平成20年4月1日付で「水産」「食品」「畜産」「保管物流」4つの主要事業会社および共通機能会社による新しい企業グループ体制を構築することを決定いたしました。

各事業会社は、独立会社として企画、開発、生産、販売までの一連の経営機能を保有し、マルハニチロ全体のグループ価値の最大化と成長を図って参ります。

#### 2. 各事業会社の再編と役割

##### (1) 水産事業会社

水産物供給・販売をグローバルスケールで最適化することを基本方針とし、海外においてはトップトレーダー、国内においてはトップサプライヤーとしての地位を構築し、世界に冠たる水産物のプロデューサーを目指します。

(会社分割及び事業の承継)

- ① マルハ株式会社は商号を「株式会社マルハニチロ水産」に変更する。
- ② 株式会社マルハニチロ水産は食品事業を会社分割し、株式会社マルハニチロ食品に承継させる。
- ③ 株式会社マルハニチロ水産は畜産事業を会社分割し、株式会社マルハニチロ畜産に承継させる。

- ④ 株式会社マルハニチロ水産は株式会社マルハニチロ食品が会社分割する水産事業を承継する。

## (2) 食品事業会社

冷凍食品・常温食品・チルド食品を基幹とした全温度帯の加工食品、また乾燥食品、調味料、健康食品、医薬品を国内外で生産・販売展開する、おいしい・しあわせを提案する食品企業を目指します。

(会社分割及び事業の承継)

- ① 株式会社ニチロは商号を「株式会社マルハニチロ食品」に変更する。
- ② 株式会社マルハニチロ食品は水産事業を会社分割し、株式会社マルハニチロ水産に承継させる。
- ③ 株式会社マルハニチロ食品は畜産事業を会社分割し、株式会社マルハニチロ畜産に承継させる。
- ④ 株式会社マルハニチロ食品は保管物流事業を会社分割し、株式会社マルハニチロ物流に承継させる。
- ⑤ 株式会社マルハニチロ食品は株式会社マルハニチロ水産が会社分割する食品事業を承継する。

## (3) 畜産事業会社

食肉・食肉加工品・飼料原料を基幹とし、トレーサビリティのある厳選された原料を、蓄積された加工技術と開発力をもって、顧客満足度の高い商品を安定的に供給し、持続的成長と高い収益力を持つ存在感のある企業を目指します。

(事業の承継)

- ① 「株式会社マルハニチロ畜産」を新設する。
- ② 株式会社マルハニチロ畜産は株式会社マルハニチロ水産が会社分割する畜産事業を承継する。
- ③ 株式会社マルハニチロ畜産は株式会社マルハニチロ食品が会社分割する畜産事業を承継する。

## (4) 保管物流事業会社

国内第3位の庫腹量と太平洋沿岸ベルト中心の立地を生かし、従来の保管中心から、通関・保管・配送を一貫して受託できる企業を目指します。

(事業の承継)

- ① 株式会社マルハ物流ネットは商号を「株式会社マルハニチロ物流」に変更する。
- ② 株式会社マルハニチロ物流は株式会社マルハニチロ食品が会社分割する保管物流事業を承継する。

## (5) 共通機能会社（シェアードサービス会社）

シェアードサービス会社の充実・活用並びに人材の最適配置等により、重複機能の効率化、本社部門を中心とした管理コストの削減を図ります。

- ① 株式会社マルハヒューマンアシストは商号を「株式会社マルハニチロマネジメント」に変更する。
- ② 株式会社マルハニチロマネジメントは株式会社マルハ経理マネジメント、および株式会社エム・アンド・アソシエイツを吸収合併する。
- ③ 株式会社マルハニチロマネジメントは株式会社マルハニチロ水産、株式会社マルハニチロ食品、株式会社マルハニチロ畜産の、総務人事・経理・財務業務を受託する。

### 3. 主要事業会社の概要

#### (1) 水産事業会社

商号	株式会社マルハニチロ水産 (英文名称: Maruha Nichiro Seafoods, Inc.)		
事業内容	漁業、養殖、水産品の輸出入・加工・販売		
設立年月日	昭和18年3月31日		
本店所在地	東京都千代田区大手町1-1-2		
代表者	取締役社長 伊藤 滋 (現 株式会社マルハニチロホールディングス取締役 兼 マルハ株式会社専務取締役)		
資本金	15,000 百万円	決算期	3月31日
主要株主	株式会社マルハニチロホールディングス (100%)		

#### (2) 食品事業会社

商号	株式会社マルハニチロ食品 (英文名称: Maruha Nichiro Foods, Inc.)		
事業内容	冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品・飲料の 製造・加工・販売		
設立年月日	大正3年3月12日		
本店所在地	東京都千代田区大手町1-1-2		
代表者	取締役社長 坂井 道郎 (現 株式会社マルハニチロホールディングス取締役 兼 株式会社ニチロ常務取締役)		
資本金	12,224 百万円	決算期	3月31日
主要株主	株式会社マルハニチロホールディングス (100%)		

#### (3) 畜産事業会社

商号	株式会社マルハニチロ畜産 (英文名称: Maruha Nichiro Meat and Products, Inc.)		
事業内容	畜産品および飼料の輸出入・加工・販売		
設立年月日	平成20年1月 (予定)		
本店所在地	東京都千代田区大手町1-1-2		
代表者	取締役社長 宮部 秀雄 (現 株式会社マルハニチロホールディングス取締役 兼 マルハ株式会社常務取締役)		
資本金	1,000 百万円	決算期	3月31日
主要株主	株式会社マルハニチロホールディングス (100%)		

(4) 保管物流事業会社

商号	株式会社マルハニチロ物流 (英文名称: Maruha Nichiro Logistics, Inc.)		
事業内容	低温保管・低温輸配送		
設立年月日	平成14年10月16日		
本店所在地	東京都中央区豊海町14-17		
代表者	取締役社長 内山 俊夫 (現 株式会社マルハ物流ネット取締役社長 兼 株式会社マルハニチロホールディングス執行役員)		
資本金	430 百万円	決算期	3月31日
主要株主	株式会社マルハニチロホールディングス (100%)		

(5) シェアードサービス会社

商号	株式会社マルハニチロマネジメント (英文名称: Maruha Nichiro Management, Inc.)		
事業内容	総務人事・経理・財務サービスの提供等		
設立年月日	昭和63年4月1日		
本店所在地	東京都千代田区大手町1-1-2		
代表者	取締役社長 山本 雅敏 (現 株式会社マルハニチロホールディングス取締役 兼 株式会社ニチロ常務取締役)		
資本金	30 百万円	決算期	3月31日
主要株主	株式会社マルハニチロホールディングス (100%)		

4. 本社・販売拠点等の統合

事業会社再編に伴い、マルハ株式会社、及び株式会社ニチロの本社・販売拠点・研究所等の統合を行います。

具体的には、水産事業・食品事業・畜産事業の本社機能を現マルハ株式会社の本社所在地（東京都千代田区大手町）に集約します。又、同一地区にある6支社・1支店・8営業所合計15拠点を統合し、中央研究所も現つくば中央研究所（茨城県つくば市）に集約いたします。

5. 会社分割・会社設立・商号変更の日程

取締役会決議	平成19年12月19日
株式会社マルハニチロ畜産設立	平成20年1月(予定)
会社分割契約書承認臨時株主総会 (マルハ株式会社、株式会社ニチロ)	平成20年2月28日(予定)
本社・販売拠点等の統合(予定)	平成20年3月末までに実施
商号変更および会社分割	平成20年4月1日(予定)

## 6. 今後の業績に与える影響

拠点の統合に関わる経費に関しては、既に平成 19 年 11 月 12 日付の平成 20 年 3 月期中間決算短信にて公表しております通期連結予想に織り込み済みです。

平成 21 年 3 月期の 4 事業会社などの再編による統合効果として、コスト面ではグループ会社を含む要員適正配置による人件費減、事務所統合、調達コストや物流コストの低減などにより約 25 億円、また事業面では統合による収益シナジー効果として約 15 億円、合計約 40 億円程度と試算しております。平成 21 年 3 月期の業績予想につきましては本年度中に公表いたします。

また、新たな中期三ヵ年経営計画の骨子については本年度中に、その事業会社毎の詳細については事業会社発足後平成 20 年 4 月以降に公表する予定です。

以上

<別紙> 平成 20 年 4 月 1 日以降のグループ概要

平成 19 年 10 月 1 日現在

(株) マルハニチロホールディングス

マルハ(株)

水産事業  
食品事業  
畜産事業  
財務  
総務

子会社 30 社  
関連会社 19 社

(株) ニチロ

水産事業  
食品事業  
畜産事業  
財務・経理  
総務・人事

子会社 26 社  
関連会社 8 社

(株) マルハ物流ネット

保管物流事業

子会社 5 社

シェアードサービス

(株) マルハヒューマンアシスト(人事)  
(株) マルハ経理マネジメント(経理)  
(株) エム・アント・アソシエツ(金融)

子会社 63 社  
関連会社 44 社

平成 20 年 4 月 1 日以降(予定)

(株) マルハニチロホールディングス

(株) マルハニチロ

水産  
水産事業

子会社 33 社  
関連会社 19 社

(株) マルハニチロ

食品  
食品事業

子会社 21 社  
関連会社 8 社

(株) マルハニチロ

畜産  
畜産事業

子会社 2 社  
関連会社 1 社

(株) マルハニチロ

物流  
保管物流事業

子会社 6 社

(株) マルハニチロ

マネジメント  
シェアードサービス  
総務人事  
経理  
財務

子会社 61 社  
関連会社 43 社